

2 0 2 5 年度 学校関係者評価報告書

学校法人ザイナスアカデミー

専門学校ザイナス I T 専門大学校

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
1.	学校関係者評価の目的と基本方針	1
2.	学校関係者評価委員出席者名簿	1
3.	学校関係者評価委員会の実施状況	1
4.	学校関係者評価委員会の実施方法	1
5.	学校関係者評価の評価方法	2
II	学校関係者評価委員会報告	2
1.	重点項目について	2
2.	基準項目について	4
(1)	教育理念・目的	4
(2)	学校運営	4
(3)	教育活動	5
(4)	学修成果	6
(5)	学生支援	6
(6)	教育環境	7
(7)	学生の受入れ募集	7
(8)	財務	8
(9)	法令等の遵守	8
(10)	国際交流	9

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

【目的】

専門学校ザイナス IT 専門大学の自己評価の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する企業および団体・個人の理解促進や連携協力による学校運営の改善並びに教員の指導力向上を図る。

【基本方針】

関連業界等関係者、教育に知見を有する者、学校法人関係者により、学校関係者評価委員会を構成し、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、国際交流を主とした評価項目において行った自己評価結果を踏まえた今後の課題と改善策が適切であるか等、自己評価結果の客観性・透明性を高め、その評価結果や今後の改善策等についてとりまとめ、広く公表する。

学校は、その評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営、教育活動等について具体的に改善を図ることで財務基盤の安定、教育水準の向上に努めることを目的とする。

なお、学校関係者評価委員会の定数は 3 名とし、任期は原則 3 年とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

種別	氏名	所属（役職）
IT 業界関係者	山本 竜伸	株式会社 INSPIRATION PLUS 代表取締役社長
教育に知見を有する者	薬師寺 十郎	株式会社まるひで 顧問（元県職員）
学校教育に知見を有する者	朝来野 幸代	朝来野学園理事長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時： 2026 年 6 月 12 日（金）15:00～16:00

場 所： 専門学校ザイナス IT 専門学校 2 階教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

2025 年度の活動実績に対し学校関係者評価委員と学校とで十分な意見交換を行い、学校の状況について共通理解を深めた。

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題や改善策について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

（1）自己評価結果の内容が適切かどうか

- (2) 今後の解決方法が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

5. 学校関係者評価の評価方法

基準項目ごとに、自己点検・評価と同じく達成度による下記の評価基準によって評価し、基準ごとに自己評価結果が適正であるかどうかを評価した。

自己評価結果に対する学校関係者評価の結果は基準項目ごとに表記している。

また、意見についても取りまとめて記載している。

【評価基準】

- 4：達成度が極めて高い
- 3：ほぼ達成している
- 2：達成がやや不十分であり、若干改善を要する
- 1：達成は不十分で改善を要する（不適合）

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【重点項目】

- ・教育理念・育成人材像に沿ったカリキュラムの質の向上
- ・学生の出席率の向上のための取り組み強化
- ・就職率の向上のための取り組み強化

【取り組み状況ならびに成果と課題】

- ・座学授業で授業の理解度の確認などが十分に行われているとは言えず、意欲や理解度などによる学習成果の差が開き二極化が進んでいる。
- ・2025年度は留学生の出席率が低く、日本人学生の出席率は平均83.2%であった。今後は、より積極的に学生とのコミュニケーションを深め、個別相談など学校側から学生に積極的に連絡するよう取り組み出席率の向上を図る必要がある。

【委員からのご意見】

- ・生徒の出席率、特に留学生については、卒業条件、在留カード更新条件をオリエンテーション時の説明会で通知、理解させることが大事である。場合によっては、著しく出席率が低い学生は注意し、除籍処分等の対応も必要ではないか。
- ・就職・進学率について、学校の評価に直結することから就職・進学率100%を目指して取り組んで欲しい。例えば、大分在住の当校の卒業生との情報交換や大学コンソーシアムおおいとの連携、情報交換、イベント研究等を行うことも検討して欲しい。

2. 基準項目について

(1) 教育理念・目的

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
・学校における職業教育の特色は何か	4	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	2
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4

【課題】

- ・学校の理念・目的・育成人材等明確になっているが、学生への周知という点是不十分ではないか。

【今後の改善方策】

- ・学生、保護者への学校の理念・目的などの周知が徹底されていないので、適時学生との面談及び保護者への連絡・通知を行う。
- ・学生が卒業後の社会環境で活躍できるよう、カリキュラム内容の更なる充実を目指す。加えて、学校の魅力に繋げるための研鑽を行う。

【委員からのご意見】

- ・学校理念・目標の学生、保護者への周知に対して、学生手帳、冊子など学生が常に携帯するものを検討していただきたい。

(2) 学校運営

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	2

【課題】

- ・教育活動に関する情報公開が不十分である。また、情報システム化等による業務の効率化も遅れている。

【今後の改善方策】

- ・シラバスの情報公開、授業内容等の公開を検討していただきたい。
情報システム化については、オンライン授業の推進、モニターを使った授業、youtube 配信による授業を検討していただきたい。

【委員からのご意見】

- ・学校を知っていただく意味でも、入学者募集の意味でも、教育活動の情報公開は必須な時代となっているのでホームページ、SNS等を有効利用して欲しい。
- ・情報のシステム化については、コストを伴うが、学校運営上、時代の流れでもあるので早急に対応していただきたい。

(3) 教育活動

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2	2
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3

【課題】

- ・教育に対する外部関係者の評価については、不十分である。

【今後の改善方策】

- ・技術の進歩の著しい業界にあつて、育成人材像に沿った教育を整備・実施するため、教育

課程編成委員会等で実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの見直し及び定期的なカリキュラムの改訂をしていく。

【委員からのご意見】

- ・授業についていけない学生へのフォローアップ、予習・復習の徹底を図っていただきたい。
- ・授業課題について適切な量だが、学生にとっては追加課題が必要と判断した場合は追加課題等を準備していただきたい。

(4) 学修成果

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・就職率の向上が図られているか	2	2
・出席率の向上が図られているか	2	2
・資格取得率の向上が図られているか	3	3
・退学率の低減が図られているか	3	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4

【課題】

- ・出席率の低下が問題である。

【今後の改善方策】

- ・対策期間以前から資格取得の動機づけ、維持及び向上を図るべく指導を行う。
- ・出席率と退学率は関係しているため、特に留学生に対し出席率向上の指導を行う。

【委員からのご意見】

- ・生徒の出席率、特に留学生については、卒業条件、在留カード更新条件をオリエンテーション時の説明会で通知、理解させることが大事である。場合によっては、著しく出席率が低い学生は注意し、除籍処分等の対応も必要ではないか。

(5) 学生支援

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3
・卒業生への支援体制はあるか	2	2
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4

【課題】

- ・卒業後の留学生への連絡、現況把握ができていない。

【今後の改善方策】

- ・卒業後の留学生への定期的連絡、現況把握に努める。

【委員からのご意見】

- ・担任を中心とした教員全員とともに適切な支援を行っている。
- ・多様性のある外国人留学生が増えているため、学内、学外（大学コンソーシアムおおい
た等）の支援制度の活用の研究を継続していただきたい。

(6)教育環境

評価項目	自己点 検評価	学校関係者 評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、について十分な教育体制を整備しているか	4	4
・防災に対する体制は整備されているか	3	3

【課題】

- ・特になし。

【今後の改善方策】

- ・特になし。

【委員からのご意見】

- ・委員からの意見は特になし。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・学生募集活動は、適切に行われているか	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3
・学納金は妥当なものとなっているか	3	3

【課題】

- ・入学時の入学金、校納金の納付時期が遅れる場合があり、適正時期に納付されていない。
- ・学生の受入れ方針や定員数について学内で継続的に検証されていない。

【今後の改善方策】

- ・入学時の入学金、校納金の納付時期が遅れる場合があり適正時期に納付されていない。
- ・授業料の未納が多いため、入学前の面接時に学費支弁能力の確認の強化を行うこと。
- ・入学金、校納金の納付については納付期限を伝え、期限を守らなかった場合は入学がで

きない旨通知することが必要ではないか。

- ・九州各県の日本語学からの入学対象者が上級学校に求めるニーズを把握し、当校への入学対象者の数を早期に把握するよう努め学生募集活動に反映させる。

【委員からのご意見】

- ・各日本語学校との連携、情報交換もさることながら当学校の卒業生からも事前に情報提供を受けることも必要ではないか。
- ・定員数及び入学希望者数については、事前に福岡出入国管理局への報告、連携を取ってほしい。

(8)財務

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

【課題】

- ・今後も予算決算管理及び昨年度対比による財務分析等の取り組みを継続的に行っていく。

【今後の改善方策】

- ・予算編成に関しては、過年度実績と次年度計画に基づき編成している。収入と支出のバランス、また、貸借対照表からも財務基盤は安定しており、学生に必要なかつ快適な教育環境を提供できる財務体質を備えている。監査は、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われている。

【委員からのご意見】

- ・委員の方からの意見は特になし。

(9)法令等の遵守

評価項目	自己点検 評価	学校関係 者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3
・自己評価結果を公開しているか	4	4

【課題】

- ・私立専修学校設置認可審査基準を遵守している。
- ・自己評価の実施が不十分である。

【今後の改善方策】

- ・教職員に法令遵守に関する研修への参加を促す。また、個人情報保護規程の取り扱いについて、教職員会議の場などで定期的な発信と共有に継続して取り組む。

【委員からのご意見】

- ・今後、自己評価の実施及び公開については「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施すること。

(10) 国際交流

評価項目	自己点 検評価	学校関係 者評価
・留学生に対する相談体制を整備しているか。	4	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	4

【課題】

- ・担任を中心とした教員全員とともに適切な支援を行っている。

【今後の改善方策】

- ・当校のシステムアーキテクトコースの日本人学生及び田北調理師専門学校日本人学生との交流を増やしていきたい。
- ・大分中央警察署警備課、福岡出入国管理局大分と連携を強化し、留学生の生活面、安全面においても配慮して欲しい。警察及び大学コンソーシアムおおいたに留学生制度、防犯講義など依頼してみたらどうか。

【委員からのご意見】

- ・多様性のある外国人留学生が増えているため、学内、学外（大学コンソーシアムおおいた等）の支援制度の活用、見直しも継続していただきたい。

以上